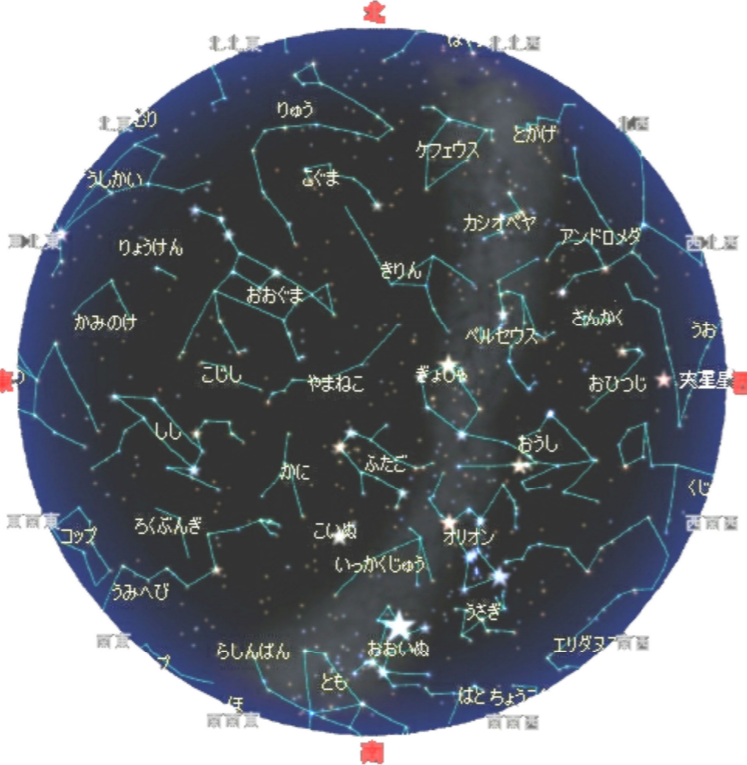


2月の星空



しょさんべつ天文台

日没後の空には冬の星座が見やすくなっています。冬の星座はオリオン座をはじめとしてふたご、おうし、おおいぬ、こいぬなどの星座があります。冬の星座には1等星が9個あります（そのうち2個は北海道から見えない）。この時期はオリオン大星雲やプレアデス、プレセペ、二重星団など見やすい天体がたくさんあります。また、夏ほど目立たないものの、カシオペア座からおおいぬ座にかけて天の川があります。冬の天の川は銀河系の外の方になるため、密度が低く薄いので周囲に明かりがあるととても見にくいです。東の空には春の星座が見えてきています。



2月は1年のうちで一番流れ星の少ない時期です。
20日はスーパームーンで、月がいつもより少し大きく見えます。
惑星は、**火星**は夕方の空にあります。小さく観望には適しません。
水星は下旬に夕方の西に見えますが、低く、近くに目立つ星もないので見つけにくいかもしれません。**金星**、**木星**、**土星**は明け方の南東の空にあります。金星は半月型より少し丸くなっています。

2月の太陽・月と主な惑星の出没

日	太陽 出	太陽 没	月 出	月 没	金星 出	金星 没	火星 出	火星 没	木星 出	木星 没	土星 出	土星 没
1	06:51	16:42	04:06	13:26	03:58	13:12	09:28	22:44	03:27	12:26	05:24	14:24
11	06:39	16:56	09:43	23:06	04:09	13:20	09:03	22:41	02:55	11:53	04:49	13:50
21	06:24	17:10	19:07	07:31	04:17	13:33	08:39	22:38	02:23	11:19	04:13	13:15
28	06:12	17:20	02:01	11:23	04:20	13:45	08:22	22:35	01:59	10:55	03:48	12:51

ご利用案内

冬季休館のお知らせ

天文台は12月から2月末まで冬季休館中です。休館中のご質問、お問い合わせは教育委員会（自然交流センター）までお願いします。

教育委員会の電話番号 **(0164) 67-2136** (日中のみ)

電話 0164-67-2539
E-mail: tenmon@aurens.or.jp
URL = <http://www.vill.shosanbetsu.lg.jp/shenmon/>

- 日: 天文現象
- 1: 月が金星に接近 (明け方の南東)
 - 2: 月が土星に接近 (明け方の南東)
 - 4: 立春 (太陽黄経315°)
 - 5: ●新月
月の距離が最遠 (40万6555km)
 - 11: 月が火星に接近 (夕方の西)
 - 12: 月面Xが見える
 - 13: △上弦

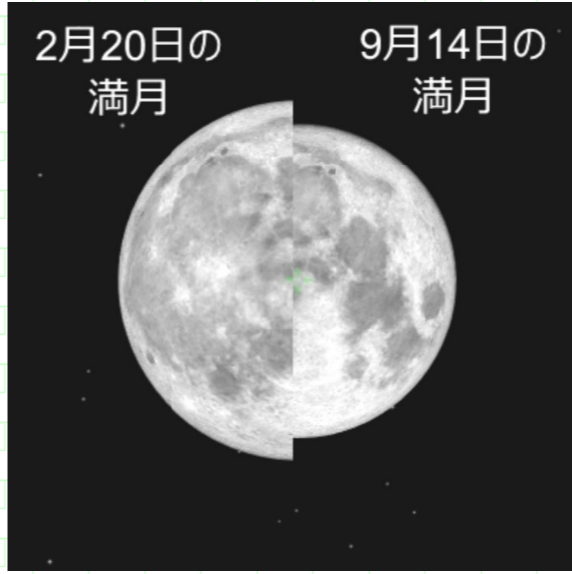
- 火星と天王星が接近 (夕方の西)
- 18: 金星と土星が接近 (明け方の南東)
- 19: 雨水 (太陽黄経330°)
月の距離が最近 (35万6761km)
- 20: ○満月 (スーパームーン)
- 26: ▼下弦
- 27: 水星が東方最大離角 (太陽の東18° 夕方の西)
- 28: 月が木星に接近

●金星と土星が接近

明け方の南東の空で輝いている金星が、18日ころ土星に近づきます。金星は-4.2等、土星は0.5等で明るさの差は4.7等級もあります。これは金星が土星より75倍も明るいことになります。土星も明るい星ですが、金星の明るさにかすんで見えるでしょう。望遠鏡で見ると、金星は半月型より少し膨らんで見えます。土星の環の直径は金星より大きいので見やすいです。



●スーパームーン



スーパームーンとは、月と地球の距離が近いときに満月になった状態を言います。毎年0~2回ありますが、今年は2月20日です。スーパームーンといっても何か天変地異が起こるとか、狼男が暴れるとかはなく、潮の満ち引きが少し大きくなったり、夜空が明るくなっていつも以上に星が見づらくなったりすることはあるでしょうか。上ってくる月がいつも以上に大きく感じられるでしょう。9月14日の満月は今年一番小さく見えます。

●岩本彗星

昨年12月に発見された彗星で、日本人単独発見としては久しぶりの彗星です。2月5日に太陽に最接近し、13日に地球におよそ4500万kmまで接近します。しし座からかに座で接近しますが、明るさは最も明るくなくても9等級までのようです。望遠鏡で見ることがあれば見てみましょう。

